

地震！その時10のポイント

地震時	① 屋内の場合（特に頭）を守る。
	② 屋外の場合 門や扉、建物から離れる。
	③ 揺れがおさまったら、火の元の確認。初期消火を行う。
	④ 靴をはく。（室内の落下物やガラス片に注意する。）
	⑤ 窓やドアを開け、避難口を確保する。慌てて外に出ない。
	⑥ 我が家の安全を確認後、近所の安全を確認する。
	⑦ 近所で協力し合い、要救助者やけが人の救出 救護をする。
	⑧ テレビやラジオなどから正しい情報を把握し、行動する。
	⑨ 火災、家屋倒壊の恐れがあれば避難する。
	⑩ 避難の際は、エレベーターを落しとガスの元栓を閉める。

災害時の安全な帰宅のために

災害時に外出していたら…安全最優先であわてて移動を開始せず、安全最優先で無理して帰宅を急がさない。

カバンに用意しておくといくつかのものを、懐中電灯（小さいタイプでも便利）・10円玉（公共電話用）・ホイッスル

災害時徒歩帰宅者支援ステーション
コンビニエンスストア、ファミリーストア、コンビニ、コンビニエンスストア、ファミリーストアなど
ステーションが自印

災害用伝言ダイヤル 1771

被災地のかたの電話番号
録音する 伝言を聞く

録音 1771 再生 1771

親戚や知人に元氣だと伝える
親戚や知人の安否が心配

家族間で電話会社が異なる場合も安否確認ができます。利用方法は契約中の携帯電話会社で確認を。

災害情報の収集

防災行政無線
※放送内容の確認は 0120-280-131
市のホームページ
http://www.city.kashiwa.lg.jp/
かしわメール配信サービス
https://www.city.kashiwa.lg.jp/kohokochi/koho/tool/mail/index.html
柏市公式LINE
@kashiwa_sh1
柏市防災安全課X(BT)witter
@kashiwa_bosai1
千葉県防災ポータルサイト
https://www.bousai.pref.chiba.lg.jp
千葉テレビやJCOMなどのデータ放送

各種情報は こちらから

被害を最小にする助け合い

初期消火
火が天井まで届き初期消火の限界となる前に、消火器等で消火しましょう。

応急手当
倒れている人がいたらまず声をかけ、意識や呼吸・脈・外傷を確認しましょう。周りの人と協力し、AEDを求めるとともに人工呼吸や心臓マッサージ、止血、骨折の固定など必要な手当てをしましょう。

※手当の際は感染予防としてビニール袋などを使い直接血液に触れないようにしましょう。

地震！その時10のポイント

地震時	① 屋内の場合（特に頭）の下などで身を守る。
	② 屋外の場合 門や扉、建物から離れる。
	③ 揺れがおさまったら、火の元の確認。初期消火を行う。
	④ 靴をはく。（室内の落下物やガラス片に注意する。）
	⑤ 窓やドアを開け、避難口を確保する。慌てて外に出ない。
	⑥ 我が家の安全を確認後、近所の安全を確認する。
	⑦ 近所で協力し合い、要救助者やけが人の救出 救護をする。
	⑧ テレビやラジオなどから正しい情報を把握し、行動する。
	⑨ 火災、家屋倒壊の恐れがあれば避難する。
	⑩ 避難の際は、エレベーターを落しとガスの元栓を閉める。

災害時の安全な帰宅のために

災害時に外出していたら…安全最優先であわてて移動を開始せず、安全最優先で無理して帰宅を急がさない。

カバンに用意しておくといくつかのものを、懐中電灯（小さいタイプでも便利）・10円玉（公共電話用）・ホイッスル

災害時徒歩帰宅者支援ステーション
コンビニエンスストア、ファミリーストア、ファミリーストアなど
ステーションが自印

災害用伝言ダイヤル 1771

被災地のかたの電話番号
録音する 伝言を聞く

録音 1771 再生 1771

親戚や知人に元氣だと伝える
親戚や知人の安否が心配

家族間で電話会社が異なる場合も安否確認ができます。利用方法は契約中の携帯電話会社で確認を。

災害情報の収集

防災行政無線
※放送内容の確認は 0120-280-131
市のホームページ
http://www.city.kashiwa.lg.jp/
かしわメール配信サービス
https://www.city.kashiwa.lg.jp/kohokochi/koho/tool/mail/index.html
柏市公式LINE
@kashiwa_sh1
柏市防災安全課X(BT)witter
@kashiwa_bosai1
千葉県防災ポータルサイト
https://www.bousai.pref.chiba.lg.jp
千葉テレビやJCOMなどのデータ放送

各種情報は こちらから

被害を最小にする助け合い

初期消火
火が天井まで届き初期消火の限界となる前に、消火器等で消火しましょう。

応急手当
倒れている人がいたらまず声をかけ、意識や呼吸・脈・外傷を確認しましょう。周りの人と協力し、AEDを求めるとともに人工呼吸や心臓マッサージ、止血、骨折の固定など必要な手当てをしましょう。

※手当の際は感染予防としてビニール袋などを使い直接血液に触れないようにしましょう。

火災対策 火災発生！そんなときどうする

初期消火の3原則

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに119番通報を。初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。

1 早く知らせる

- 「火事だ」と大声を出し、隣近所に援助を求める。声が出なければ、近くのものなどを叩き、大きな音を出す。
- 小さな火でも119番通報する。当事者は消火に当たり、近くの人に通報を頼む。

2 早く消火する

- 出火から3分以内が消火できる限度。
- 水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で火を叩く、毛布で覆うなどの手近のものを活用する。

火元別初期消火のコツ

油なべ

あわてて水をかけるのは厳禁。消火器がなければ濡らした大きめのタオルやシーツを手前からかけ、空気を遮断して消火を。

石油ストーブ

真上から一気に水をかけて消火(斜めにかけると石油が飛び散って危険)。石油が流れてひろがっていくようなら毛布などで覆い、その上から水をかけて消火を。

衣類

着衣に火がついたら転げまわって消すのも方法。髪の毛の場合なら衣類やタオルなどを頭からかぶる。

風呂場

風呂場からの出火に気づいても、いきなり戸を開けるのは禁物。空気が室内に供給されて火勢が強まる危険がある。ガスの元栓を締め、徐々に戸を開けて一気に消火を。

電気製品

いきなり水をかけると感電の危険が。まずはコードをコンセントから抜いて(できればブレーカーも切る)消火を。

カーテン・ふすま

カーテンやふすまなどの立ち上がり面に火が燃え広がったら、もう余裕はない。引きちぎり蹴り倒して火元を天井から遠ざけ、その上で消火を。

3 早く逃げる

- 天井に火が燃え移った場合は、速やかに避難する。
- 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を絶つ。

消火器の使い方

粉末・強化液消火器の場合

安全ピンに指をかける上に引き抜く。

ホースをはずして火元に向ける。

レバーを強く握って噴射する。

構え方

- 風上に回り風上から消す。火災にはまともに正対しないように。
- やや腰を落して姿勢をなるべく低く。熱や煙を避けるように構える。
- 燃え上がる炎や煙にまどわされずに燃えているものにノズルを向け、火の根元を掃くように左右に振る。

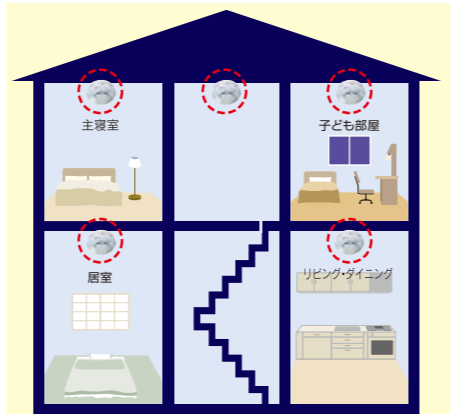
火災予防が重要！！

火災警報器の設置義務化

消防法の改正により、住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

火災警報器の設置場所

- 寝室…すべての寝室（子ども部屋や高齢者の部屋など就寝に使われている場合は対象となります）への設置が必要です。
- 階段…寝室がある階の階段の天井などへの設置が必要です。



感震ブレーカーの設置

震災時は、停電復旧による通電火災が多く発生しています。そのため、一定の揺れを感知したら、自動的にブレーカーを落とす「感震ブレーカー」の設置を推奨します。